

MTX大量静注療法プロトコール

	投与予定量	投与経路	Day 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
メソトレキセート	1-3.5g/m ²	3-6 hr div	↓							↓									
ロイコボリン	15mg/body	div		↓	↓	↓					↓	↓	↓		MTX開始24時間より6時間毎に静注				
テスパミン	40mg/m ²	div	↓																
プロカルバジン	100mg/m ²	PO	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	

注意1

テスパミン、プロカルバジンは必ずしも追加の必要はありませんが、使用する場合は上記投与に加え以下の通り4週に1回外来でも投与します

テスパミン(Thiotepa) 静注 40mg/m² iv day 29とday 57

プロカルバジン(PCZ)内服 100mg/m² day 29-43とday 57-71

注意2

ロイコボリンは、MTX開始24時間より6時間毎に3日間静注し、MTXの血中濃度を測定します

ただし、72時間後もMTXの血中濃度が 1×10^7 モル濃度以上の場合には、血中濃度が 1×10^7 モル濃度未満になるまで十分な水分の補給、尿のアルカリ化及びロイコボリンの増量投与・ロイコボリン救援投与の延長等を行います

注意3

上記の尿のアルカリ化のため、尿のpHは経時的にチェックし、MTX注射剤添付文書に従い適宜メイロンを追加してください

注意4

髄膜浸潤陽性の場合、Ara-C 60mg + PSL 20mg 髄注週に2回を3週間行うこともあります